

事業所名	グループホームワカヤ・クラブ (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成19年 4月12日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、■-A・B・P-2級、介護支援専門員 B:現職 民間教育機関講師 資格・経験 介護支援専門員、■-A・B・P-2級、難病患者等■-A・B・P-、福祉住環境コーディネーター
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>運営法人全体の誓いとして介護目標に掲げている、『サンシル「知る(分かる)、贈る(理解する)、思ふ(想う)」の精神で、個人のプライバシーを重んじ、入居者本意に徹した支援を目指している。</p> <p>明るい笑顔で接し、入居者・家族への礼節を重んじ、個人の人格、意志を尊重する認知症介護を実現できるように目指している。</p> <p>「ワカヤ・クラブ」の名前の由来を生かし、最高のおもてなしの精神で入居者と共にホームの暮らしを楽しみ、共に歩んで行く気持ちを具現化出来るように取り組んでいる。</p> <p>入居者一人ひとりに合わせ、「その人らしく」今までの生活の延長として快適な空間・時間を一つ屋根の下で送れるように支援している。</p> <p>職員は、入居者と家族の意向を充分認識し、入居者が明るい笑顔・清潔な身なりで、快適で安心な日常生活を送れるように取り組んでいる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が着ち替えて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>共用空間には、備前焼きの壁紙や風景画、壁など多くの調度品があり、また、自由に寛げるように随所にソファを設置している。生活空間としての安らぎのスペースであり、調度品により優雅さを醸しだし、ゆったりと安定した毎日が送れるように取り組んでいる。</p> <p>朝と夜、BGMを変化させ、音楽による認知症緩和と入居者の精神的安定を積極的に図っている。また、職員がピアノを弾いて入居者の気持ちを和ませ、幸せを感じてもらえる場所作りに努めている。</p> <p>職員は入居者個々の特徴を把握し、その方に寄り添うように介助を行い、気持ちの安定が保てるよう配慮している。入浴なども入居者の希望に合わせて午後19時～21時に入れるなど、入居者のペースを尊重する工夫をしている。</p> <p>集団生活の中にあっても、入居者が居室で読み物や書道等の趣味を楽しむ状況を作って個人の趣向を尊重する支援を行い、入居者の心理的安定を図っている。</p> <p>四季折々の行事・誕生会等、節目ごとの適宜な刺激が心理的平常心をもたらすように配慮している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

調評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
岡山市街地の東、小高い山麓の木立が多い閑静な住宅地にホームはある。2ユニットのグループホームで、白い壁を基調にした二階建ての建物は周囲ともよくマッチしており、二階の窓からは岡山市街が一望できる。
「ワカヤ・クラブ」という名称は、フィジーの美しい海に囲まれた「ワカヤ島」にある世界的保養地に由来する。広い敷地・手入れの行き届いた庭等、リゾートホテルや会社の保養所のような心が穏やかになる雰囲気、玄関のカーブしたスロープも癒しを感じられるアレンジである。
近くの内科医院としっかりとした提携があり、平素の健康維持はもちろん、緊急時にも、24時間充分に対応できる体制がある。作業療法士・看護師が開所以来常勤しており、入居者・家族は安心してホーム生活が送れる。
企業としての合理的運営・職員の労務管理等が確立しており、ホームの管理及び介護に関する書類・記録に関しても、詳細かつ簡潔に整備されている。入居者の日常の状況・体調の変化等は、一覽して理解できるようになっている。入居者への礼節を守り、人格を尊重する精神が職員全員に徹底されており、入居者の明るく穏やかな表情からもうかがえる。
音楽療法に関しての研修をよく行っており、入居者のバイオリズムに合わせて朝と夜のBGMを変えている。また、睡眠についても詳しく学び、入居者にとって精神的にも安定したホーム生活が実現できている。
前回の外部評価で提案した安全・避難訓練等に関して、直ちに手すりを設置し、地域・消防署とも連携を図って課題を改善し、また、運営推進会議を取り入れて積極的に地域交流等に取り組む姿勢は評価できる。ボランティア研修に参加し、ボランティアコーディネーターの資格も取得している。
開設当初より作業療法士・看護師を配置し、提携医療機関からは理学療法士の定期的派遣があり、医業面の体制を充実させ、健康に不安を持つ入居者・家族の期待に添うように努力を重ねている点は高く評価できる。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
改善点として特に指摘すべき事項は無いが、
内部での研修・検討は、細部までマニュアル化してしっかりと行っている。今後は、外部研修をもっと増やし、日々変化・発展する認知症介護に関する情報を体感し、代表者・職員全員で共有するようになれば、新たな特色がワカヤ・クラブに加わるものと期待する。
散歩等外出時には、入居者にホームの名刺を所持してもらう等の工夫があるが、地域との強い連携を生かして「お出かけボランティア」なども一考していただきたい。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄バケーンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>職員は、入居者個人の生活歴・趣味や生活習慣を把握し、本人の意向を尊重し、各個人が「その人らしい生活」を集団生活の中で出来るように日頃から働きかけ、支援している。</p> <p>職員は入居者の現実を否定せず、その人の人格を尊重し、心を癒しながらホーム生活が送れるように取り組んでいる。</p> <p>入居者個人の書類など、重要文書は整理してファイリングし、管理者が事務室に施錠して保管するなど個人情報の保護を徹底して行っている。不要な個人の書類はシュレッダーにかけ、個人情報の取扱い防止に努めている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>代表者は、グループホームの運営について平素より全職員と積極的に意見交換をし、その理念は管理者を始め、職員全員で共有し、介護サービスの質の向上に向けて取り組んでいる。入居者をより深く理解するため24日間アセスメントシートを備え、個々の気づきを積み上げて振り返り、情報を共有するよう努力している。</p> <p>「介護は人なり」として、人事採用のポイントに向上心・モチベーション・吸収力を重点に置き、素直で表情豊かな人を採用するようにしている。</p> <p>職員一人ひとりが、認知症介護の知識、支援技術の向上への意欲を持っており、代表者は職員に研修会への出席を呼び掛けて内部での勉強会を開催し、それら研修の参加報告書を求め、ケアサービスの質の向上に努力している。</p> <p>トラブル・苦情は改善の基本として捉え、苦情発生・対応・処理を報告書に記録して検討し、ケアサービス、レベルアップに繋がる体制作りを行っている。</p> <p>事故報告書には、「ヒヤリハット」「やってしまったシート」を含め、些細な事象も記録に残し、トラブル発生の因果関係・処理・対応の経過を検討して内容を周知徹底し、「繰り返さない」という確固たる姿勢で業務に臨み、事故再発防止に努力している。</p>		